

2025年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月12日

上場会社名 株式会社東京通信グループ 上場取引所 東
 コード番号 7359 URL <https://www.tokyo-tsushin.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 古屋 佑樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 赤堀 政彦 (TEL) 03-6452-4523
 定時株主総会開催予定日 2026年3月26日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2026年3月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (動画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期の連結業績 (2025年1月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	6,219	6.1	195	—	665	—	230	—
2024年12月期	5,861	△5.8	△230	—	△211	—	△413	—

(注) 包括利益 2025年12月期 675百万円 (—%) 2024年12月期 △325百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年12月期	22.87	22.80	35.5	17.9	3.1
2024年12月期	△41.05	—	△55.8	△4.8	△3.9

(参考) 持分法投資損益 2025年12月期 △7百万円 2024年12月期 △12百万円

(注) 2024年12月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期	3,671	890	20.8	75.92
2024年12月期	3,751	765	14.2	53.06

(参考) 自己資本 2025年12月期 764百万円 2024年12月期 534百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年12月期	376	590	△606	1,138
2024年12月期	129	71	△868	771

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2026年12月期の連結業績予想 (2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	6,500	4.5	250	27.9	260	△60.9	110	△52.3	10.92

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 ー 社 (社名)

除外 3 社 (社名) 株式会社METAVERSE A CLUB、株式会社シーカーズポート
 株式会社デジタルプラント

(注) 詳細は、添付資料「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2025年12月期	10,074,422株	2024年12月期	10,074,270株
2025年12月期	ー株	2024年12月期	198株
2025年12月期	10,074,205株	2024年12月期	10,073,463株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年12月期の個別業績 (2025年1月1日~2025年12月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	1,107	51.8	667	ー	740	ー	722	ー
2024年12月期	729	△58.5	△222	ー	△326	ー	△535	ー
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年12月期	71.67		71.44					
2024年12月期	△53.19		ー					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2025年12月期	3,827	1,653	42.7	162.04				
2024年12月期	3,763	939	24.2	90.37				

(参考) 自己資本 2025年12月期 1,632百万円 2024年12月期 910百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

当社は、2025年3月31日付で連結子会社から剰余金の配当を446百万円受領し、営業収益を計上したこと、一部の関係会社に対する貸倒引当金を戻し入れたこと、関係会社株式及び関係会社出資金の評価損の計上が無かったことにより、前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
(6) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	13
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	19
4. 個別財務諸表	20
(1) 貸借対照表	20
(2) 損益計算書	22
(3) 株主資本等変動計算書	23

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により緩やかな回復が期待される一方、米国の通商政策の影響による景気下振れリスクが高まっております。加えて、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響等もが国の景気を下押しするリスクとなっております。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意が必要であり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが事業展開するインターネット広告市場においては、社会のデジタル化を背景に、2024年のインターネット広告費は前年比9.6%増の3兆6,517億円（※1）となりました。また、インターネット広告費のうち、インターネット広告媒体費は、動画サービスにおける利用者数・利用時間が増加したことで、前年比10.2%増の2兆9,611億円^(※1)となっております。

このような事業環境の中で、当社グループは、「創造によって世界中のエモーショナルを刺激する」というパーパスの実現に向けて、ビジョンに「Digital Well-Being」を掲げ、インターネットを通じて人々の心を豊かにするサービスを創造し続けることによって企業価値の持続的な向上を図っております。

当連結会計年度における連結業績につきましては、新規事業への投資方針を見直し、主力事業へ経営資源を集中したことなどにより収益構造が改善し、損益の各段階において利益水準が大きく向上いたしました。

メディア事業においては、スマートフォンゲームアプリの取り組みが着実に成果を上げ、2つのタイトルがApp Store及びGoogle Play（無料ゲーム）ランキングで第1位を獲得いたしました。当期における一連の取り組みを通じて、ヒットタイトル創出における再現性は従前よりも一層向上し、同事業の競争力及び収益基盤の強化につながっております。

エンタメテック領域では、サービス内容の改善及び収益構造の見直しが奏功し、プラットフォーム事業におけるエンタメテック事業の営業利益は5四半期連続で黒字を計上いたしました。その他区分におけるファンクラブビジネス事業についても、当連結会計年度を通じて営業利益の黒字を確保し、収益性の改善が定着しつつあります。

さらに、投資事業においては投資有価証券の売却を複数実施し、営業外収益に計上した売却益は計5億29百万円となるなど、連結業績に大きく寄与いたしました。

これらの取り組みの成果として、各事業の業績は当初計画を上回って推移し、通期連結業績予想については計4回の上方修正を実施いたしました。また、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、2015年の創業以来、過去最高を更新しております。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は62億19百万円（前期比6.1%増）、営業利益は1億95百万円（前期は営業損失2億30百万円）、経常利益は6億65百万円（前期は経常損失2億11百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益は2億30百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失4億13百万円）、EBITDA（営業利益+のれん償却費+減価償却費）は5億56百万円（前期比262.0%増）となりました。

（※1）出所 株式会社電通「2024年 日本の広告費」

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(メディア事業)

メディア事業の当連結会計年度におきましては、経営資源の配分を見直し、過去の実績及び知見を踏まえて、相対的に成功確率の高いゲームジャンルに集中したことにより、スマートフォンゲームアプリにおける開発・運用体制の再構築が進みました。その成果として、当期には2つのタイトルがApp Store及びGoogle Play（無料ゲーム）ランキングで第1位を獲得しており、ヒットタイトル創出における再現性の向上にもつながっております。これらの上位タイトルが業績を牽引したほか、第1位獲得には至らなかった複数のタイトルについても一定のプレゼンスを示し、業績に寄与いたしました。

画像メーカーサービス「Picrew（ピクルー）」につきましては、通期において前期比で増収増益となりました。売上高は前期比19.0%増、営業利益は同27.8%増となっております。

以上の結果、売上高は34億14百万円（前期比3.3%増）、セグメント利益は3億63百万円（同82.1%増）、EBITDA（営業利益+のれん償却費+減価償却費）は4億14百万円（同60.0%増）となりました。

なお、重要指標である当連結会計年度におけるスマートフォンアプリの運用本数^(※2)は245本となりました。

（※2）運用本数とは、広告出稿による運用を伴うすべてのスマートフォンゲームアプリの本数（月平均）としております。

(プラットフォーム事業)

プラットフォーム事業の当連結会計年度におきましては、主力である電話占いサービス事業の売上高は概ね計画通りに進捗し、各種施策の効果により営業利益は前期比で増益となりました。

加えて、エンタメテック事業は5四半期連続で営業利益の黒字を計上しており、プラットフォーム事業全体として概ね順調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は22億21百万円（前期比0.3%減）、セグメント利益は3億33百万円（同24.8%増）、EBITDA（営業利益+のれん償却費+減価償却費）は6億38百万円（同10.1%増）となりました。

なお、重要指標である当連結会計年度における電話占いサービス事業の相談回数は、285千回となりました。

(その他)

その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。ファンクラブビジネス事業、メタバース事業、デジタルサイネージ事業、投資事業及び新規事業開発等に取り組んでおります。

その他の区分の売上構成比において中核的な位置を占めているファンクラブビジネス事業は、通期での営業黒字化を達成いたしました。収益構造の見直しによる効果が着実に定着し、収益性の改善は一過性にとどまらず、安定的な営業黒字体質へと転換しております。これにより、当該事業はグループ全体の収益基盤を下支えする存在としての役割を、より一層明確なものとしております。

投資事業においては、ポートフォリオの見直しの一環として投資有価証券の売却を複数実施し、その結果、営業外収益として計上した売却益は計5億29百万円となり、連結業績の改善に大きく寄与いたしました。

以上の結果、売上高は5億82百万円（前期比77.3%増）、セグメント損失は27百万円（前期はセグメント損失1億89百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における財政状態は、資産が36億71百万円（前期末比2.1%減）、負債が27億81百万円（同6.9%減）、純資産は8億90百万円（同16.3%増）となりました。

資産の主な増減要因は、現金及び預金が3億67百万円増加、償却によりのれん、商標権及び顧客関連資産が3億44百万円減少、売却などにより投資有価証券が1億28百万円減少したことによるものであります。

負債の主な増減要因は、短期借入金が2億44百万円増加、未払金が21百万円減少、返済により長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が1億20百万円減少、償還により1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債が1億94百万円減少したことによるものであります。

純資産の主な増減要因は、投資事業において分配金を出資者へ支払ったことにより非支配株主持分が97百万円減少、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が2億30百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ現金及び現金同等物が3億67百万円増加の11億38百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と主な内容は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動の結果、前連結会計年度末に比べ2億47百万円増加の3億76百万円の資金流入となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が6億65百万円、減価償却費及びのれん償却額が3億61百万円あった一方、法人税等の支払額1億43百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動の結果、前連結会計年度末に比べ5億19百万円増加の5億90百万円の資金流入となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入6億41百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動の結果、前連結会計年度末に比べ2億61百万円増加の6億6百万円の資金流出となりました。これは、投資事業における出資者への分配金の支出5億21百万円、長期借入金の返済による支出4億60百万円があった一方、長期借入による収入3億40百万円、短期借入金の増加額2億44百万円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

当社を取り巻く事業環境は、デジタル化の急速な進展及びAI技術の高度化を背景として、顧客ニーズの多様化と変化のスピードが一段と加速しております。このような環境下において、持続的な成長を実現するためには、既存事業の着実な成長を基盤としつつ、M&Aを通じた非連続な成長を継続的に取り込んでいくことが重要な経営テーマであると認識しております。当社は、オーガニック成長とM&Aの両輪による事業拡大を通じて、企業価値及び株主価値の中長期的な向上を目指してまいります。

メディア事業につきましては、2025年12月期において2つのタイトルがApp Store及びGoogle Play（無料ゲーム）ランキングで第1位を獲得するなど、顕著な成果を上げました。これまでの開発・運営ノウハウの蓄積により、ヒットタイトル創出における再現性は一段と高まっており、今後はこの強みを活かしながら、ヒット率のさらなる向上に加え、海外市場への展開拡大にも継続して取り組むことで、収益基盤の拡充を図ってまいります。

プラットフォーム事業につきましては、主力である電話占いサービス事業において、「電話占いカリス」、 「SATORI電話占い」及び「恋愛相談METHOD」の各相談サービスを中心に、生成AIを活用した業務プロセスの高度化及び効率化を推進しております。これにより、運営コストの最適化とサービス品質の向上を同時に実現し、電話占いサービス事業全体の収益力強化と競争優位性の確立を進めてまいります。

また、エンタメテック領域においては、サービス内容の改善及び収益構造の見直しが奏功し、2025年12月期には安定的に黒字を計上できる体制を構築いたしました。今後は、運用の最適化を継続しつつ、成長性及び収益性を見極めた選択的な投資フェーズへ移行することで、利益成長のさらなる拡大を図ってまいります。

以上の取り組みを踏まえ、2026年12月期における連結業績予想を以下の通り策定しております。

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	EBITDA*
2026年12月期 連結業績予想	6,500	250	260	110	520
(ご参考)前期実績 (2025年12月期)	6,219	195	665	230	556
増減額	280	54	△405	△120	△36
増減率 (%)	4.5	27.9	△60.9	△52.3	△6.6

*EBITDA=営業利益+のれん償却費+減価償却費

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

また、2025年12月期の実績には、有価証券売却益5億29百万円を含む営業外収益5億49百万円が含まれております。2026年12月期におきましても、投資事業において投資有価証券の売却が発生する可能性はありますが、現時点では実現の蓋然性が不透明であることから、当該影響は業績予想に織り込んでおりません。

今後、業績予想を上回る成果が確認された場合には、適切な時期に業績予想の見直しを行ってまいります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当連結会計年度において、前期まで実施していた新規事業への積極的な投資を見直し、主力事業に経営資源を集中した結果、収益性が改善し、営業利益1億95百万円、経常利益6億65百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2億30百万円を計上しました。その一方で、前期までの新規事業投資の影響等により、短期有利子負債と現金及び預金のバランスがなお十分とはいえない状況が継続しております。具体的には、短期有利子負債（短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金）が12億51百万円であるのに対し、現金及び預金は11億38百万円となっており、資金構成の改善には引き続き一定の対応が必要であると認識しております。これにより、当社グループの資金繰りに一定の懸念が生じており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在していません。

当社グループは、当該状況を解消すべく、主力事業における安定的なキャッシュ・フローの創出を図るとともに、投資の選択と集中を徹底し、運転資金の適切な管理及び金融機関との協調を通じて、財務体質の改善に取り組んでおります。これらの施策により、資金繰りは着実に改善しており、当面の運転資金は確保されております。

以上の状況を踏まえ、当社グループは、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況の解消に向けた取り組みが順調に進捗していることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

(6) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、事業の成長・拡大による企業価値の向上を最重要課題として認識するとともに、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置付けております。

当連結会計年度におきましては、当期の業績を踏まえまして、誠に遺憾ながら、無配とさせていただきます。

利益配分につきましては、今後の成長・拡大戦略に備えた内部留保の充実等を総合的に勘案した上で業績の動向を踏まえた配当を検討していく方針であり、今後の配当実施の可能性、実施時期については現時点で未定であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、外国人株主比率の推移及び国内同業他社の動向等を考慮し適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	771,144	1,138,621
売掛金	725,480	776,353
貯蔵品	36,494	4,852
暗号資産	-	11,020
その他	167,936	146,714
貸倒引当金	△11,575	△9,572
流動資産合計	1,689,480	2,067,990
固定資産		
有形固定資産		
建物	40,782	40,782
減価償却累計額	△5,900	△8,780
建物(純額)	34,881	32,002
工具、器具及び備品	44,923	47,121
減価償却累計額	△30,876	△35,309
工具、器具及び備品(純額)	14,047	11,812
有形固定資産合計	48,929	43,814
無形固定資産		
のれん	608,779	483,289
商標権	647,387	566,363
顧客関連資産	187,351	48,990
ソフトウェア	25,761	27,128
ソフトウェア仮勘定	12,521	17,098
無形固定資産合計	1,481,801	1,142,870
投資その他の資産		
投資有価証券	259,170	130,609
敷金及び保証金	165,380	164,859
繰延税金資産	57,209	78,343
その他	49,473	43,315
投資その他の資産合計	531,234	417,127
固定資産合計	2,061,965	1,603,812
資産合計	3,751,445	3,671,802

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	115,714	185,570
未払金	500,700	478,916
短期借入金	155,000	399,600
1年内返済予定の長期借入金	559,951	851,836
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	194,943	-
契約負債	79,510	61,011
未払法人税等	87,885	60,022
預り金	18,750	17,832
ポイント引当金	4,355	11,798
その他	77,221	28,116
流動負債合計	1,794,032	2,094,703
固定負債		
長期借入金	832,374	420,157
資産除去債務	28,992	29,216
繰延税金負債	330,879	237,537
固定負債合計	1,192,245	686,911
負債合計	2,986,278	2,781,614
純資産の部		
株主資本		
資本金	613,246	613,276
資本剰余金	142,461	142,491
利益剰余金	△220,622	9,630
自己株式	△171	-
株主資本合計	534,912	765,399
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△414	△556
その他の包括利益累計額合計	△414	△556
新株予約権	34,117	26,396
非支配株主持分	196,552	98,949
純資産合計	765,167	890,187
負債純資産合計	3,751,445	3,671,802

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
売上高	5,861,558	6,219,055
売上原価	1,218,595	1,387,596
売上総利益	4,642,962	4,831,458
販売費及び一般管理費	4,873,958	4,635,946
営業利益又は営業損失(△)	△230,995	195,512
営業外収益		
受取利息	96	1,027
受取配当金	0	0
為替差益	19,213	12,632
投資有価証券売却益	106,351	529,262
償却債権取立益	19,718	2,529
その他	9,244	3,743
営業外収益合計	154,625	549,196
営業外費用		
支払利息	19,816	28,436
借入手数料	-	4,515
投資事業組合運用損	618	5,864
投資有価証券評価損	101,465	16,186
投資有価証券売却損	-	430
持分法による投資損失	12,970	7,902
貸倒引当金繰入額	-	6,040
事業撤退損	-	6,333
その他	510	3,499
営業外費用合計	135,381	79,209
経常利益又は経常損失(△)	△211,751	665,498
特別利益		
持分変動利益	20,009	-
特別利益合計	20,009	-
特別損失		
減損損失	63,632	-
特別損失合計	63,632	-
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△255,374	665,498
法人税、住民税及び事業税	114,623	104,375
法人税等調整額	△45,154	△114,475
法人税等合計	69,469	△10,099
当期純利益又は当期純損失(△)	△324,843	675,598
非支配株主に帰属する当期純利益	88,696	445,173
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△413,539	230,425

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△324,843	675,598
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△414	△142
その他の包括利益合計	△414	△142
包括利益	△325,258	675,456
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△413,954	230,283
非支配株主に係る包括利益	88,696	445,173

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	613,125	142,340	192,917	△171	948,211	-	-	22,667	774,444	1,745,323
当期変動額										
新株の発行(新株予約権の行使)	120	120			241					241
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△413,539		△413,539					△413,539
自己株式の消却					-					-
利益剰余金から資本剰余金への振替					-					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△414	△414	11,449	△577,892	△566,857
当期変動額合計	120	120	△413,539	-	△413,298	△414	△414	11,449	△577,892	△980,155
当期末残高	613,246	142,461	△220,622	△171	534,912	△414	△414	34,117	196,552	765,167

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	613,246	142,461	△220,622	△171	534,912	△414	△414	34,117	196,552	765,167
当期変動額										
新株の発行(新株予約権の行使)	30	30			61					61
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			230,425		230,425					230,425
自己株式の消却		△171		171	-					-
利益剰余金から資本剰余金への振替		171	△171		-					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△142	△142	△7,721	△97,602	△105,465
当期変動額合計	30	30	230,253	171	230,486	△142	△142	△7,721	△97,602	125,020
当期末残高	613,276	142,491	9,630	-	765,399	△556	△556	26,396	98,949	890,187

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△255,374	665,498
減価償却費	259,510	235,854
のれん償却額	125,489	125,489
減損損失	63,632	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7,487	△2,002
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,200	-
ポイント引当金の増減額(△は減少)	412	7,443
受取利息及び受取配当金	△97	△1,028
支払利息	19,816	28,436
為替差損益(△は益)	△3,527	△6,915
株式報酬費用	6,037	1,750
持分法による投資損益(△は益)	12,970	7,902
借入手数料	-	4,515
投資事業組合運用損益(△は益)	618	5,864
投資有価証券売却損益(△は益)	△106,351	△528,832
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,702	-
投資有価証券評価損益(△は益)	101,465	16,186
売上債権の増減額(△は増加)	7,306	△50,873
棚卸資産の増減額(△は増加)	18,705	31,641
仕入債務の増減額(△は減少)	43,235	69,855
持分変動損益(△は益)	△20,009	-
未払金の増減額(△は減少)	△42,090	△42,946
その他の資産の増減額(△は増加)	12,391	42,950
その他の負債の増減額(△は減少)	73,620	△67,627
その他	278	2,555
小計	307,649	545,719
利息及び配当金の受取額	97	1,028
利息の支払額	△19,135	△27,348
法人税等の支払額	△126,479	△143,115
和解金の支払額	△33,000	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	129,132	376,284

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,959	△2,827
有形固定資産の売却による収入	1,900	-
無形固定資産の取得による支出	△43,259	△13,943
投資有価証券の売却による収入	108,201	641,206
出資金の払込による支出	△60	△15,000
資産除去債務の履行による支出	△3,850	-
保険積立金の解約による収入	8,000	-
暗号資産の取得による支出	-	△13,000
敷金及び保証金の差入による支出	-	△161
敷金及び保証金の回収による収入	2,472	101
その他	-	△5,544
投資活動によるキャッシュ・フロー	71,445	590,830
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入手数料の支払額	-	△4,515
新株予約権の行使による株式の発行による収入	241	61
新株予約権の発行による収入	5,412	340
新株予約権の買取による支出	-	△9,812
長期借入れによる収入	49,000	340,000
長期借入金の返済による支出	△411,307	△460,332
短期借入金の純増減額 (△は減少)	155,000	244,600
転換社債型新株予約権付社債の償還による支出	-	△194,943
連結範囲の変更を伴わない関係会社株式の取得による支出	-	△100
非支配株主への分配金の支払額	△666,588	△521,613
財務活動によるキャッシュ・フロー	△868,242	△606,314
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,785	6,676
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△664,879	367,477
現金及び現金同等物の期首残高	1,436,023	771,144
現金及び現金同等物の期末残高	771,144	1,138,621

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1 連結の範囲に関する事項

すべての子会社を連結しております。

連結子会社の数 23社

前連結会計年度において連結子会社でありました株式会社METAVERSE A CLUB及び株式会社シーカーズポートは、連結子会社である株式会社ティファレットを存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

また、前連結会計年度において連結子会社でありました株式会社デジタルプラントは、株式会社テトラクローマを存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

2 持分法の適用に関する事項

持分法を適用した関連会社数 2社

3 連結子会社の事業年度等に関する事項

在外連結子会社であるTT TECH COMPANY LIMITEDの決算日は9月30日ではありますが、連結財務諸表作成にあたっては、連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。

4 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券

その他有価証券

市場価格のない株式等

主として移動平均法による原価法

なお、投資事業組合等に対する出資については、組合の直近の決算書を基礎とし、持分相当額を純額で取り込む方法によっております。

② 貯蔵品

貯蔵品については、先入先出法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）によっています。

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法を採用しております。ただし、建物については、定額法を採用しております。

主な耐用年数は次のとおりであります。

建物	8～15年
工具、器具及び備品	3～15年

② 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な償却年数は次のとおりであります。

顧客関連資産	5年
商標権	7～12年
自社利用のソフトウェア	5年

(3) 重要な引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

ポイント引当金

顧客に付与したポイントの使用に備えるため、過去の使用実績率及び失効実績率に基づき、将来使用されると見込まれる金額を計上しております。

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期的な投資からなっております。

(5) 重要な外貨建ての資産又は負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

(6) 重要な収益及び費用の計上基準

当社及び連結子会社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

(メディア事業)

メディア事業は、国内及び海外向けカジュアルゲームアプリ、ハイパーカジュアルゲームアプリの運用、管理を行う事業等であります。主な履行義務は、自社アプリに顧客の広告を掲載することであり、当該アプリ利用者が広告をクリック等した時点で、顧客が設定したクリック料金に基づき収益を認識しております。

(プラットフォーム事業)

プラットフォーム事業は、「電話占いカリス」及び「SATORI電話占い」の企画、運営を行う事業等であります。「電話占いカリス」及び「SATORI電話占い」の主な履行義務は、顧客の依頼により電話占いを行うことであり、当該電話占いが終了した時点で収益を認識しております。

(7) その他連結財務諸表作成のための重要な事項

グループ通算制度の適用

当社及び一部の国内連結子会社は、単体納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。）に従っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービスのビジネス特性を基礎としたセグメントから構成されており、「メディア事業」、「プラットフォーム事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類は次のとおりであります。

名称	サービス内容
メディア事業	主に広告主からの広告収入型のビジネスモデルによる、メディア運営、スマートフォン向け無料アプリの企画・開発、アドテクノロジーを活用した広告商品の販売。
プラットフォーム事業	主にユーザーからの月額・従量課金型のビジネスモデルによる、コミュニケーションサービス、メッセージアプリサービスの企画・運営。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	メディア 事業	プラットフォ ーム事業	計			
売上高						
一時点で移転される財又はサ ービス	3,304,474	2,171,617	5,476,092	194,944	—	5,671,037
一定の期間にわたり移転され る財又はサービス	—	56,645	56,645	133,875	—	190,521
顧客との契約から生じる収益	3,304,474	2,228,263	5,532,738	328,820	—	5,861,558
外部顧客への売上高	3,304,474	2,228,263	5,532,738	328,820	—	5,861,558
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	52,806	△52,806	—
計	3,304,474	2,228,263	5,532,738	381,626	△52,806	5,861,558
セグメント利益又は損失 (△)	199,659	267,546	467,205	△189,680	△508,521	△230,995
セグメント資産	743,824	1,520,719	2,264,543	465,131	1,021,770	3,751,445
その他の項目						
減価償却費	25,932	220,452	246,385	7,191	5,934	259,510
のれん償却額	33,506	91,983	125,489	—	—	125,489
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	27,536	—	27,536	1,196	3,820	32,552

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メタバース事業、デジタルサイ
ネージ事業、人材紹介事業、投資事業及び新規事業開発等であります。

2. 「調整額」は、下記のとおりであります。

(1)セグメント利益又は損失(△)の調整額△508,521千円は、提出会社の管理部門にかかる人件費及び経費等
の各報告セグメントに配賦されない提出会社の全社費用であります。

(2)セグメント資産の調整額1,021,770千円は各報告セグメントに配賦されない現金及び預金等の全社資産であ
ります。

(3)「調整額」における減価償却費5,934千円並びに有形固定資産及び無形固定資産の増加額3,820千円は、主
に、提出会社のソフトウェアの購入にかかるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	メディア 事業	プラットフォ ーム事業	計			
売上高						
一時点で移転される財又はサ ービス	3,369,340	2,138,506	5,507,846	323,399	—	5,831,246
一定の期間にわたり移転され る財又はサービス	45,136	83,163	128,299	259,509	—	387,809
顧客との契約から生じる収益	3,414,476	2,221,669	5,636,146	582,908	—	6,219,055
外部顧客への売上高	3,414,476	2,221,669	5,636,146	582,908	—	6,219,055
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	23,064	△23,064	—
計	3,414,476	2,221,669	5,636,146	605,973	△23,064	6,219,055
セグメント利益又は損失 (△)	363,489	333,912	697,402	△27,774	△474,115	195,512
セグメント資産	677,169	1,209,399	1,886,568	400,878	1,384,355	3,671,802
その他の項目						
減価償却費	17,550	212,379	229,930	769	5,155	235,854
のれん償却額	33,506	91,983	125,489	—	—	125,489
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	18,051	206	18,258	272	1,904	20,435

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファンクラブビジネス事業、メタバース事業、デジタルサイネージ事業、資事業及び新規事業開発等であります。

2. 「調整額」は、下記のとおりであります。

(1)セグメント利益又は損失(△)の調整額△474,115千円は、提出会社の管理部門にかかる人件費及び経費等の各報告セグメントに配賦されない提出会社の全社費用であります。

(2)セグメント資産の調整額1,384,355千円は各報告セグメントに配賦されない現金及び預金等の全社資産であります。

(3)「調整額」における減価償却費5,155千円並びに有形固定資産及び無形固定資産の増加額1,904千円は、主に、提出会社のソフトウェアの購入にかかるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	調整額	合計
	メディア事業	プラットフォーム事業	計			
減損損失	5,804	24,664	30,469	33,163	—	63,632

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	調整額	合計
	メディア事業	プラットフォーム事業	計			
当期償却額	33,506	91,983	125,489	—	—	125,489
当期末残高	128,442	480,337	608,779	—	—	608,779

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	調整額	合計
	メディア事業	プラットフォーム事業	計			
当期償却額	33,506	91,983	125,489	—	—	125,489
当期末残高	94,935	388,354	483,289	—	—	483,289

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり純資産額	53.06 円	75.92 円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△41.05 円	22.87 円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	— 円	22.80 円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失のため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△413,539	230,425
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△413,539	230,425
普通株式の期中平均株式数(株)	10,073,463	10,074,205
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(千株)	—	32,938
(うち新株予約権(千株))		(32,938)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第4回新株予約権(新株予約権の数3,902個780,400株) 第5回新株予約権(新株予約権の数3,500個700,000株) 第6回新株予約権(新株予約権の数2,000個400,000株) 第7回新株予約権(新株予約権の数983個196,600株) 第8回新株予約権(新株予約権の数2,200個220,000株) 第9回新株予約権(新株予約権の数150個15,000株)	第4回新株予約権、第5回新株予約権、第6回新株予約権及び第7回新株予約権は、2025年4月23日をもって行使期間満了により消滅しております。 第1回無担保転換社債型新株予約権付社債は2025年4月23日に行使期間が終了し、2025年4月23日に満期償還しました。 第8回新株予約権(新株予約権の2,200個220,000株) 第9回新株予約権(新株予約権の数150個15,000株) 第10回新株予約権(新株予約権の数3,400個340,000株)

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当事業年度 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	135,473	395,271
売掛金	55,022	68,592
貯蔵品	46	60
前払費用	34,761	17,481
関係会社短期貸付金	838,687	622,551
預け金	425	425
暗号資産	-	11,020
その他	190,079	110,636
貸倒引当金	△623,444	△507,896
流動資産合計	631,051	718,144
固定資産		
有形固定資産		
建物	31,067	28,556
工具、器具及び備品	6,484	6,206
有形固定資産合計	37,551	34,763
無形固定資産		
ソフトウェア	6,232	4,263
無形固定資産合計	6,232	4,263
投資その他の資産		
投資有価証券	2,957	2,957
関係会社株式	2,859,685	2,859,785
関係会社出資金	58,437	38,669
敷金及び保証金	164,698	164,698
長期前払費用	-	3,690
繰延税金資産	2,406	257
その他	0	0
投資その他の資産合計	3,088,185	3,070,058
固定資産合計	3,131,969	3,109,084
資産合計	3,763,021	3,827,229

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当事業年度 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	155,000	399,600
関係会社短期借入金	776,942	296,735
1年内返済予定の長期借入金	548,695	840,580
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	194,943	-
未払金	265,707	175,323
未払費用	1,815	1,063
未払法人税等	5,416	7,551
未払消費税等	30,969	10,265
預り金	18,641	17,543
流動負債合計	1,998,130	1,748,663
固定負債		
長期借入金	796,840	395,879
資産除去債務	28,992	29,216
固定負債合計	825,832	425,095
負債合計	2,823,963	2,173,758
純資産の部		
株主資本		
資本金	613,246	613,276
資本剰余金		
資本準備金	610,246	610,276
資本剰余金合計	610,246	610,276
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△312,967	408,932
利益剰余金合計	△312,967	408,932
自己株式	△171	-
株主資本合計	910,352	1,632,486
新株予約権	28,705	20,984
純資産合計	939,058	1,653,470
負債純資産合計	3,763,021	3,827,229

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
営業収益	729,559	1,107,274
営業費用	952,093	440,215
営業利益又は営業損失(△)	△222,534	667,058
営業外収益		
受取利息	7,452	13,880
投資事業組合運用益	21,567	96,345
その他	8,297	2,458
営業外収益合計	37,317	112,684
営業外費用		
支払利息	21,338	32,128
借入手数料	-	4,515
貸倒引当金繰入額	102,555	344
投資有価証券評価損	17,042	-
その他	34	1,999
営業外費用合計	140,970	38,988
経常利益又は経常損失(△)	△326,187	740,754
特別損失		
関係会社株式評価損	74,716	-
関係会社出資金評価損	95,000	-
特別損失合計	169,716	-
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△495,903	740,754
法人税、住民税及び事業税	26,786	16,532
法人税等調整額	13,143	2,149
法人税等合計	39,929	18,682
当期純利益又は当期純損失(△)	△535,833	722,072

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計
当期首残高	613,125	610,125	-	610,125	222,865	222,865
当期変動額						
新株の発行(新株予約 権の行使)	120	120		120		
当期純利益又は当期純 損失(△)					△535,833	△535,833
自己株式の消却						
利益剰余金から資本剰 余金への振替						
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	120	120	-	120	△535,833	△535,833
当期末残高	613,246	610,246	-	610,246	△312,967	△312,967

	株主資本		新株予約権	純資産 合計
	自己株式	株主資本 合計		
当期首残高	△171	1,445,944	22,667	1,468,612
当期変動額				
新株の発行(新株予約 権の行使)		241		241
当期純利益又は当期純 損失(△)		△535,833		△535,833
自己株式の消却		-		-
利益剰余金から資本剰 余金への振替		-		-
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			6,037	6,037
当期変動額合計	-	△535,591	6,037	△529,554
当期末残高	△171	910,352	28,705	939,058

当事業年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計
当期首残高	613,246	610,246	-	610,246	△312,967	△312,967
当期変動額						
新株の発行(新株予約 権の行使)	30	30		30		
当期純利益又は当期純 損失(△)					722,072	722,072
自己株式の消却			△171	△171		
利益剰余金から資本剰 余金への振替			171	171	△171	△171
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	30	30	-	30	721,900	721,900
当期末残高	613,276	610,276	-	610,276	408,932	408,932

	株主資本		新株予約権	純資産 合計
	自己株式	株主資本 合計		
当期首残高	△171	910,352	28,705	939,058
当期変動額				
新株の発行(新株予約 権の行使)		61		61
当期純利益又は当期純 損失(△)		722,072		722,072
自己株式の消却	171	-		-
利益剰余金から資本剰 余金への振替		-		-
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			△7,721	△7,721
当期変動額合計	171	722,133	△7,721	714,412
当期末残高	-	1,632,486	20,984	1,653,470